



平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トレジャー・ファクトリー
コード番号 3093 URL <http://www.treasurefactory.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野坂 英吾
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 小林 英治

TEL 03-3880-8822

四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第3四半期の業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|------|------|------|--------|------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 28年2月期第3四半期 | 8,994 | 15.2 | 842 | 8.8 | 864 | 9.0 | 510 | 15.6 |
| 27年2月期第3四半期 | 7,805 | 16.9 | 774 | 42.4 | 792 | 41.7 | 441 | 40.2 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 28年2月期第3四半期 | 45.65 | 43.96 |
| 27年2月期第3四半期 | 39.74 | 38.66 |

当社は、平成28年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行い、平成27年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定した数値を記載しております。

(2) 財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|-------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 28年2月期第3四半期 | 5,269 | 3,154 | 59.7 |
| 27年2月期 | 5,040 | 2,955 | 58.5 |

(参考)自己資本 28年2月期第3四半期 3,148百万円 27年2月期 2,950百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年2月期 | — | 0.00 | — | 18.00 | 18.00 |
| 28年2月期 | — | 5.50 | — | — | — |
| 28年2月期(予想) | — | — | — | 5.50 | 11.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。平成28年2月期(予想)につきましては、当該株式分割を考慮した配当金の額を記載しております。

3. 平成28年2月期の業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|--------|------|-------|-----|-------|-----|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 11,853 | 10.9 | 1,039 | 8.2 | 1,052 | 8.8 | 631 | 11.4 | 56.55 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成27年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。通期の1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割の影響を考慮して算出しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 28年2月期3Q | 11,192,800 株 | 27年2月期 | 11,192,800 株 |
| ② 期末自己株式数 | 28年2月期3Q | 117,696 株 | 27年2月期 | 296 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 28年2月期3Q | 11,185,716 株 | 27年2月期3Q | 11,112,405 株 |

当社は、平成26年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行い、平成27年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。当該株式分割が前事業年度の期首に行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は本資料の発表現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては【添付資料】2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (3) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | 6 |
| 第3四半期累計期間 | 6 |
| (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |
| (重要な後発事象) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益は依然改善傾向にある一方で、11月以降の暖冬の影響もあり、個人消費が伸び悩む状況となりました。

このような経営環境の中、当第3四半期累計期間においては、新規出店を8店、既存店の移転リニューアルを3店実施し、店舗出店が順調に進捗しました。既存店(平成26年2月期末までに出店した店舗、以下同じ)の売上が前年同期比6.0%増となり、総じて好調に推移した結果、当第3四半期(9-11月)は全社の営業利益率が12.5%と前年同期を0.6%上回り、第3四半期累計期間では、全社売上が前年同期比15.2%増、経常利益で同9.0%増、四半期純利益で同15.6%という結果となり、着実に利益を伸ばすことができました。

当第3四半期累計期間の売上高は、全社では前年同期比15.2%増、既存店では同6.0%増となり、商品カテゴリー別の売上高では、出張買取が伸びたこと等により電化製品が前年同期比18.6%増加し、衣料が同14.0%増、服飾雑貨が同15.7%増となりました。当期商品仕入高は全社で前年同期比16.8%増となりました。一般顧客からの仕入である一般買取は全社で前年同期比22.1%増、既存店では同10.5%増となり、買取も好調に推移しました。

出店政策においては、総合リユース業態の「トレジャーファクトリー」(直営店)を4月に千葉県千葉市に1店、6月に東京都府中市に1店、10月に千葉県鎌ヶ谷市に1店、11月に大阪府松原市に1店ずつ計4店出店しました。服飾専門リユース業態の「トレファクスタイル」は、直営店を7月に千葉県市川市に1店、10月に神奈川県横浜市に1店ずつ計2店出店しました。スポーツ・アウトドア業態の「トレファクスポーツ」は、直営店を9月に千葉県柏市に1店出店しました。古着アウトレット業態の「ユーズレット」は、直営店を8月に埼玉県川越市に1店出店しました。また、老朽化が進んでいた「トレジャーファクトリー所沢店」と手狭となっていた「トレファクスタイル川越店」を8月に、「トレファクスタイル多摩センター店」を9月に、いずれも近隣に移転リニューアルしました。この結果、平成27年11月末現在では、直営店が総合リユース業態「トレジャーファクトリー」54店、服飾専門リユース業態「トレファクスタイル」26店、ブランド古着専門業態「ブランドコレクト」2店、スポーツ・アウトドア業態「トレファクスポーツ」2店、古着アウトレット業態「ユーズレット」2店の計86店、FC店が「トレジャーファクトリー」4店となり、合計店舗数90店体制となりました。

利益面では、売上総利益額が全社で前年同期比13.4%増、既存店では同4.1%増となりました。全社の売上総利益率は、65.2%と前年同期に比べ1.1%低下し、既存店の売上総利益率は65.3%と前年同期に比べ1.2%低下しました。第3四半期(9月-11月)では、第2四半期までに比べて衣料品などの値引き等の影響は改善しました。一方で、当期首より出張買取の配送の外部委託を本格的に導入したことにより配送コストが増え、仕入にかかるコストが増額したことで売上原価率が上昇しましたが、この配送の外部委託により、出張買取を安定的にこなす体制が整い、家電や家具の買取、販売の増加につなげることができました。全社の差引売上総利益率は前年同期比1.0%低下し、65.2%となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、販売費及び一般管理費比率が前年同期比0.5%低下し、55.8%となりました。営業利益率は前年同期に比べ0.5%低下し、9.4%となり、経常利益率は前年同期に比べ0.6%低下し、9.6%となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高8,994,381千円(前年同期比15.2%増)、営業利益842,052千円(前年同期比8.8%増)、経常利益864,111千円(前年同期比9.0%増)、四半期純利益510,638千円(前年同期比15.6%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における資産合計は、商品が301,932千円増加したこと、敷金及び保証金が105,091千円増加したこと等により、前事業年度末と比較して229,998千円増加し、5,269,999千円となりました。

当第3四半期会計期間末における負債合計は、短期借入金が173,334千円増加したこと、未払法人税等が152,939千円減少したこと等により、前事業年度末と比較して31,567千円増加し、2,115,964千円となりました。

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、四半期純利益を510,638千円計上したこと、配当金の支払を162,291千円したこと、自己株式の取得を149,916千円したこと等により、前事業年度末と比較して198,431千円増加し、3,154,035千円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月10日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(3) 追加情報

(表示方法の変更)

前事業年度まで「営業外収益」の「その他」に含めておりました、引越事業の仲介手数料による収入につきましては、事業として本格化し金額的な重要性が高まったため、当事業年度期首より「売上高」に含めて表示しております。

この結果、前第3四半期累計期間の四半期損益計算書において、「営業外収益」の「その他」に含めて表示していた2,398千円は、「売上高」として組替えております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成27年2月28日) | 当第3四半期会計期間 (平成27年11月30日) |
|---------------|-----------------------|-----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,152,841 | 766,942 |
| 売掛金 | 117,446 | 217,112 |
| 商品 | 1,499,409 | 1,801,341 |
| その他 | 303,657 | 285,318 |
| 流動資産合計 | 3,073,354 | 3,070,714 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物(純額) | 657,693 | 700,578 |
| 土地 | 141,555 | 141,555 |
| その他(純額) | 185,878 | 269,581 |
| 有形固定資産合計 | 985,127 | 1,111,715 |
| 無形固定資産 | 37,871 | 30,206 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 788,723 | 893,814 |
| その他 | 154,924 | 163,548 |
| 投資その他の資産合計 | 943,647 | 1,057,362 |
| 固定資産合計 | 1,966,646 | 2,199,284 |
| 資産合計 | 5,040,000 | 5,269,999 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 39,812 | 47,876 |
| 短期借入金 | 370,000 | 543,334 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 99,818 | 118,268 |
| 未払法人税等 | 277,779 | 124,839 |
| 賞与引当金 | 157,672 | 83,922 |
| 返品調整引当金 | 20,178 | 24,142 |
| ポイント引当金 | 35,989 | 31,437 |
| 訴訟損失引当金 | - | 6,791 |
| その他 | 668,153 | 592,330 |
| 流動負債合計 | 1,669,403 | 1,572,942 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 164,756 | 274,497 |
| 資産除去債務 | 248,413 | 268,104 |
| その他 | 1,823 | 420 |
| 固定負債合計 | 414,993 | 543,022 |
| 負債合計 | 2,084,397 | 2,115,964 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成27年2月28日) | 当第3四半期会計期間 (平成27年11月30日) |
|---------|-----------------------|-----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 369,743 | 369,743 |
| 資本剰余金 | 304,743 | 304,743 |
| 利益剰余金 | 2,275,946 | 2,624,293 |
| 自己株式 | △109 | △150,025 |
| 株主資本合計 | 2,950,323 | 3,148,755 |
| 新株予約権 | 5,280 | 5,280 |
| 純資産合計 | 2,955,603 | 3,154,035 |
| 負債純資産合計 | 5,040,000 | 5,269,999 |

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

| | 前第3四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日) | 当第3四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日) |
|--------------|--|--|
| 売上高 | 7,805,567 | 8,994,381 |
| 売上原価 | 2,632,862 | 3,130,142 |
| 売上総利益 | 5,172,705 | 5,864,238 |
| 返品調整引当金戻入額 | 18,192 | 20,178 |
| 返品調整引当金繰入額 | 20,355 | 24,142 |
| 差引売上総利益 | 5,170,543 | 5,860,274 |
| 販売費及び一般管理費 | 4,396,492 | 5,018,222 |
| 営業利益 | 774,051 | 842,052 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 89 | 96 |
| 自販機収入 | 10,633 | 12,164 |
| その他 | 11,095 | 12,184 |
| 営業外収益合計 | 21,819 | 24,445 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,753 | 2,219 |
| その他 | 495 | 166 |
| 営業外費用合計 | 3,248 | 2,386 |
| 経常利益 | 792,621 | 864,111 |
| 特別利益 | | |
| 受取補償金 | — | 7,326 |
| 特別利益合計 | — | 7,326 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 1,074 | 1,290 |
| 投資有価証券評価損 | 615 | 238 |
| 訴訟損失引当金繰入額 | — | 6,791 |
| 特別損失合計 | 1,689 | 8,320 |
| 税引前四半期純利益 | 790,931 | 863,117 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 326,400 | 306,500 |
| 法人税等調整額 | 22,967 | 45,978 |
| 法人税等合計 | 349,367 | 352,478 |
| 四半期純利益 | 441,564 | 510,638 |

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はリユース事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。